

自分が“世界”と出会う場所

安平町立早来学園 (義務教育学校) について

はじめに

令和5(2023)年4月、早来地区に義務教育学校「早来学園」が開校します。

皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3(2021)年8月号より連載を開始しました。

今月は、みんなの学校をつくる会で子どもたちと大人たちが話し合ってきた『学校の丘づくり』について説明します。

今後広報紙で

紹介すること

今後は、次のようなテーマで早来学園に関する情報をお伝えしていく予定です。

12月号

開校までのスケジュールと進捗状況などについて

1月号

完成した建物(外部)の様子について

2月号

完成した建物にかかった費用などについて

3月号

完成した建物(内部)の様子について

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによって、内容を変更することがありますのでご了承ください。

『みんなの学校をつくる会』とは？

令和4(2022)年3月号でこの『みんなの学校をつくる会』(以下『つくる会』)について紹介しましたが、その内容を少し振り返りたいと思います。

地震で被災した早来中学校を建て直すことが決まり、平成31(2019)年1月から新しい学校に関する話し合いの場ができたことがきっかけです。

ここからたくさんの方の話し合いを重ねていき、令和3(2021)年11月から現在の住民有志の皆さんが中心となって進める形になり、以降も月1回ほどのペースで開催されてきました。

こういった話し合いの場は、大人同士のものとなりやすいですが、つくる会では当初から児童・生徒の皆さんにも参加していただき、大人にはない考え方や発想をしっかりと伝えていただきました。

『つくる会』の歩みと整備要望書の提出

昨年11月から、ひとつの大きなテーマについて話し合ってきました。それは『学校の丘づくり』です。早来学園の背後にある丘(位置関係は、広報あびら3月号をご覧ください)を、『子どもと大人の両方が「ここで過ごしたい。」と思える場所』にしていきたいために知恵を出し合ってきました。

月に1回程度の話し合いのほかにも、早来地区4校(安平小・早来小・遠浅小・早来中)の児童・生徒だけでなく、住民の皆さんへもアンケート調査にご協力いただくなどして、今年7月の『つくる会』において、これまで出た意見をまとめた「みんなの学校の丘整備要望書」が教育長へ提出されました。この要望書は、必ずしも全てを教育委員会で実現してほしいと要望するものではなく、この中から一つでも多く実現できるよう地域の皆さんと力を合わせて考えていくきっかけとするものです。